

産地交流会でセンターの取組等を紹介

11月6日（火）、京都市内の一般消費者を対象にした、京都府畜産振興協会主催の産地交流会（安全畜産物生産現場バスツアー）が開催されました。

参加された消費者約40名は、府内産の安心・安全な畜産製品の紹介やセンターでの凍結精液、受精卵の作成をはじめとする「牛乳・牛肉が生産されるまで」の説明に興味深く聴き入り、熱心に研修されていました。

その後、一行は亀岡市の肥育農家も視察し、府内産の畜産製品への信頼が深めただけだと確信しています。



子牛の飼い方の説明

ポンベに保存された凍結精液を興味深く見入る消費者



畜産技術センター